

# 地方自治体における教育データの利活用の状況

# 教育データの利活用に関する実態調査の概要

## 【調査概要】

- 各自治体における教育データ利活用に関する取組の実態や期待等を調査するもの。

## 【対象】

- 小学校及び中学校（義務教育学校及び中等教育学校前期課程を含み、特別支援学校は含まない。）を所管する教育委員会（回答数：1684）

## 【実施時期】

- 令和6年3月

## 【調査内容】

- 教育DX等の位置付け
- 小中学校において使用予定のデジタル教材等
- 教育データ分析・利活用を支えるシステムの利用状況
  - ・ ダッシュボード機能を有するシステム（利用有無、利用内容、表示するデータ、利用しない理由）
  - ・ ポータルサイト機能を有するシステム（利用有無、利用内容、利用しない理由）
  - ・ シングルサインオン（SSO）機能（利用有無）
- 教育データ利活用に期待すること

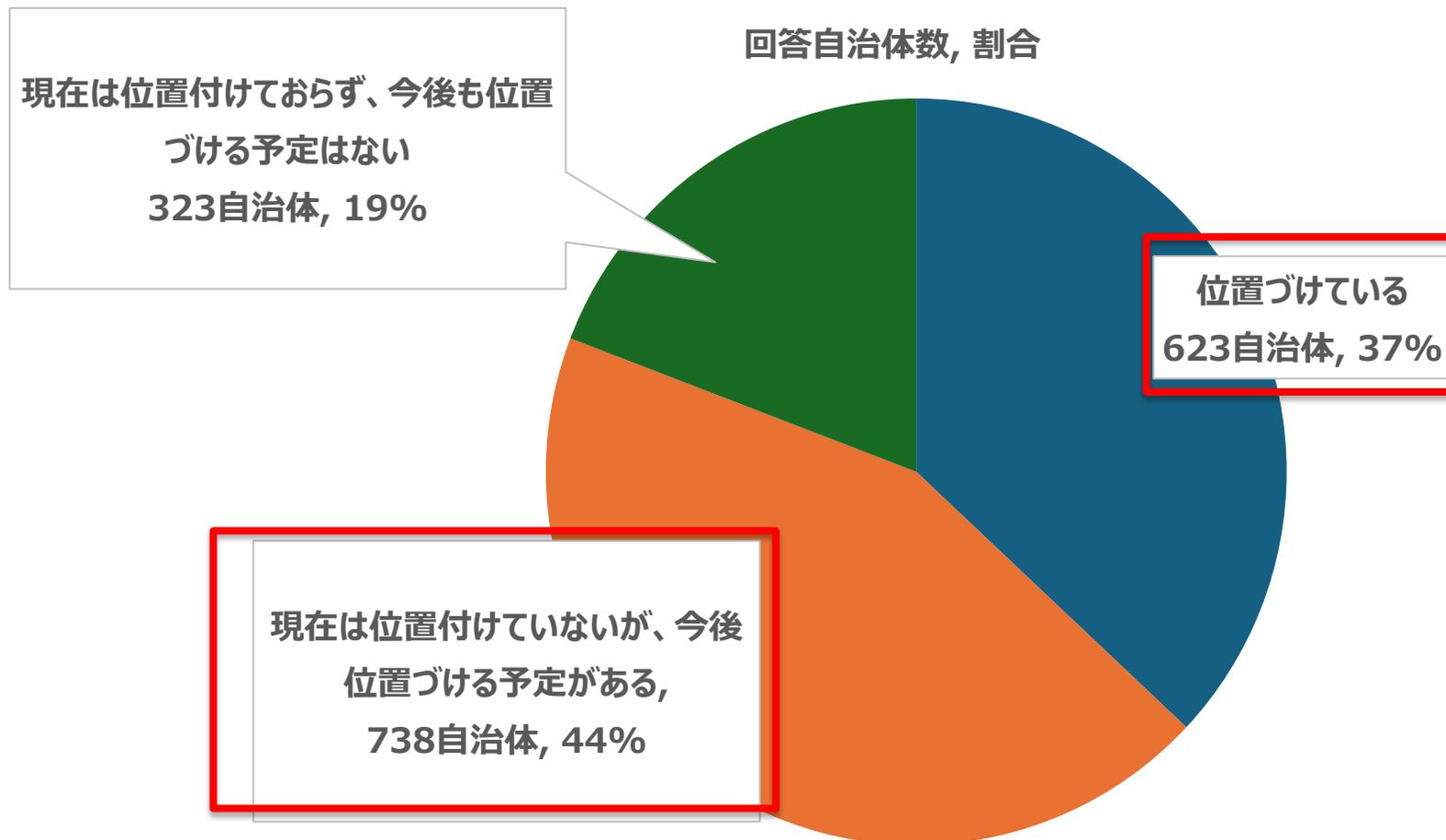
## 【調査結果】 次ページ以降参照

# ①教育DXの位置付け

約8割の自治体が、「教育DX」や「教育データ利活用」等の推進を、重点施策等に位置付けている（又は位置付ける予定がある）。

問. 貴自治体では、「教育DX」や「教育データ利活用」等の推進を重点施策等に位置付けていますか。

※「重点施策等に位置付けている」とは、教育振興基本計画等、教育政策の基本方針を定めた文書等に下記のような文言を明記していることを指す。  
文言の例：「教育DX」「教育デジタルトランスフォーメーション」「教育データの利活用」「教育データ分析」「データ活用による教育政策の改善、EBPMの推進」



(N=1684)

## ②小中学校で使用するデジタル教材等

小中学校で使用するデジタル教材は、デジタル教科書、協働学習・授業支援ソフトウェア、ドリル教材の順に多い。また、校務支援システムも多数導入されている。

問. 令和6年度、貴自治体の小中学校で使用予定のデジタル教材等について教えてください。

### 小学校

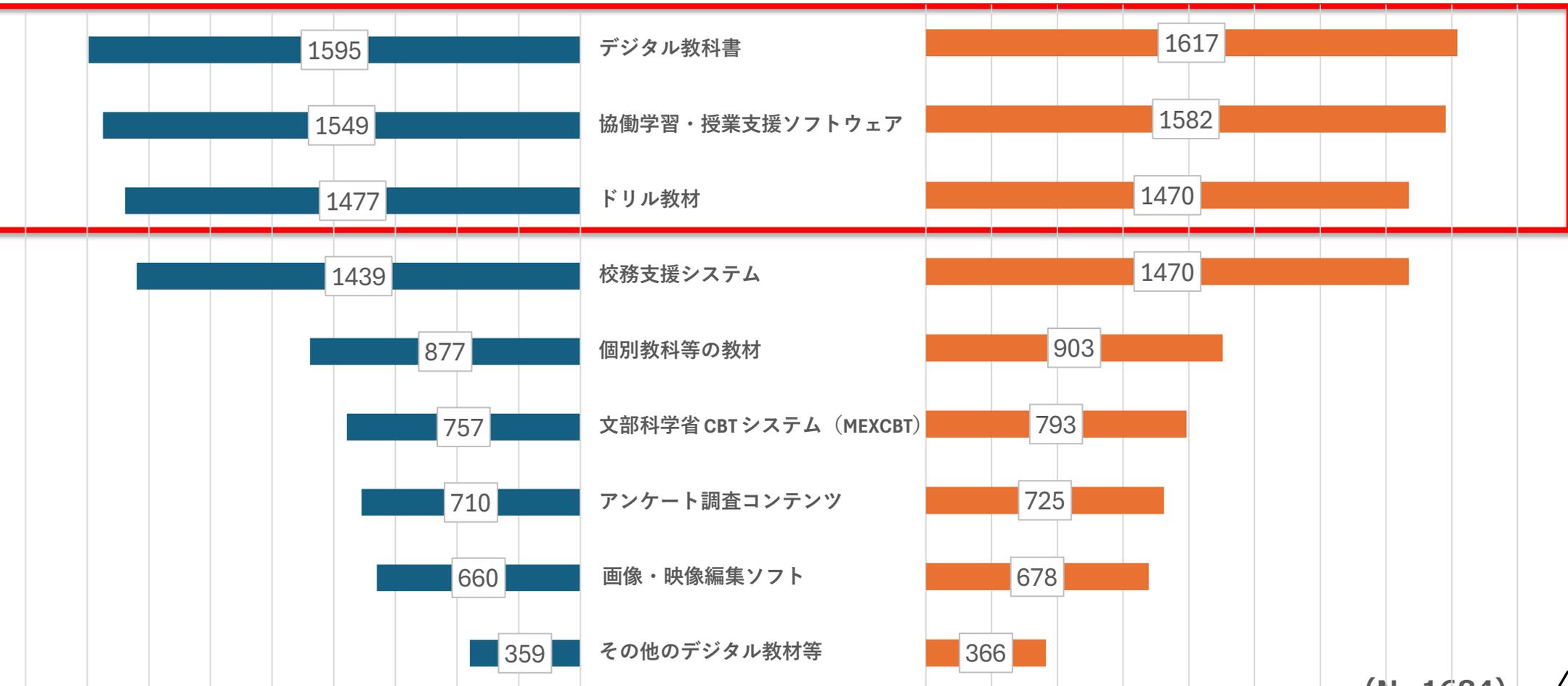
回答自治体数

1800 1600 1400 1200 1000 800 600 400 200 0

### 中学校

回答自治体数

0 200 400 600 800 1000 1200 1400 1600 1800



(N=1684)

## ②デジタル教材等のデータ表示方法（小学校）

使用している教材等の種類に関わらず、各教材等がそれぞれ持っている結果表示機能を用いている自治体が多い。複数の教材等で取得したデータを一元的に表示する自治体は少ない。

問. 令和6年度、貴自治体の小学校で使用予定のデジタル教材等について、各教材等によって取得されたデータ（テスト結果などの学習ログ等）は、どのように端末上に表示していますか。

	1 デジタル教科書	2 ドリル教材	3 協働学習・授業支援ソフトウェア	4 個別教科等の教材	5 アンケート調査コンテンツ	6 画像・映像編集ソフト	7 文部科学省 CBTシステム	8 校務支援システム
1 各教材等の固有の結果表示機能等により表示している	41.9% 668 件	71.2% 1,052 件	59.7% 925 件	49.4% 433 件	63.0% 447 件	38.5% 254 件	57.9% 438 件	55.6% 800 件
2 ダッシュボード機能により、複数のデジタル教材等の取得したデータと一元化して表示している	1.4% 23 件	3.2% 48 件	3.1% 48 件	1.3% 11 件	3.5% 25 件	1.2% 8 件	4.9% 37 件	2.5% 36 件
3 場面に応じ、1と2の両方の方法を使い分けて表示している	3.4% 55 件	4.4% 65 件	4.3% 66 件	4.3% 38 件	5.2% 37 件	2.4% 16 件	4.2% 32 件	3.3% 47 件
4 表示していない	15.4% 246 件	4.2% 62 件	8.3% 128 件	13.9% 122 件	6.3% 45 件	21.2% 140 件	7.9% 60 件	11.2% 161 件
5 使用していない	13.4% 214 件	4.7% 69 件	8.2% 127 件	12.8% 112 件	9.9% 70 件	15.5% 102 件	8.2% 62 件	12.1% 174 件
6 把握していない	24.4% 389 件	12.3% 181 件	16.5% 255 件	18.4% 161 件	12.1% 86 件	21.2% 140 件	16.9% 128 件	15.4% 221 件

## ②デジタル教材等のデータ表示方法（中学校）

使用している教材等の種類に関わらず、各教材等がそれぞれ持っている結果表示機能を用いている自治体が多い。複数の教材等で取得したデータを一元的に表示する自治体は少ない。

問. 令和6年度、貴自治体の中学校で使用予定のデジタル教材等について、各教材等によって取得されたデータ（テスト結果などの学習ログ等）は、どのように端末上に表示していますか。

	1 デジタル教科書	2 ドリル教材	3 協働学習・授業支援ソフトウェア	4 個別教科等の教材	5 アンケート調査コンテンツ	6 画像・映像編集ソフト	7 文部科学省 CBTシステム	8 校務支援システム
1 各教材等の固有の結果表示機能等により表示している	42.3% 684 件	71.7% 1,054 件	60.2% 953 件	49.5% 447 件	63.0% 457 件	37.5% 254 件	58.3% 462 件	48.9% 823 件
2 ダッシュボード機能により、複数のデジタル教材等の取得したデータと一元化して表示している	1.4% 23 件	3.3% 48 件	3.0% 48 件	1.3% 12 件	3.3% 24 件	1.2% 8 件	5.3% 42 件	2.1% 36 件
3 場面に応じ、1と2の両方の方法を使い分けて表示している	3.4% 55 件	4.4% 64 件	4.2% 66 件	4.2% 38 件	5.5% 40 件	2.7% 18 件	4.2% 33 件	2.9% 48 件
4 表示していない	15.2% 246 件	4.3% 63 件	8.3% 131 件	13.6% 123 件	6.2% 45 件	21.2% 144 件	7.7% 61 件	9.6% 161 件
5 使用していない	13.4% 217 件	4.7% 69 件	8.0% 127 件	12.4% 112 件	9.9% 72 件	15.8% 107 件	8.1% 64 件	10.7% 181 件
6 把握していない	24.2% 392 件	11.7% 172 件	16.2% 257 件	18.9% 171 件	12.0% 87 件	21.7% 147 件	16.5% 131 件	13.1% 221 件

### ③ダッシュボード機能を有するシステムの利用状況

ダッシュボード機能（\*）を有するシステムを利用している自治体は約15%にとどまっているが、約54%の自治体は今後利用を検討（検討予定）である。

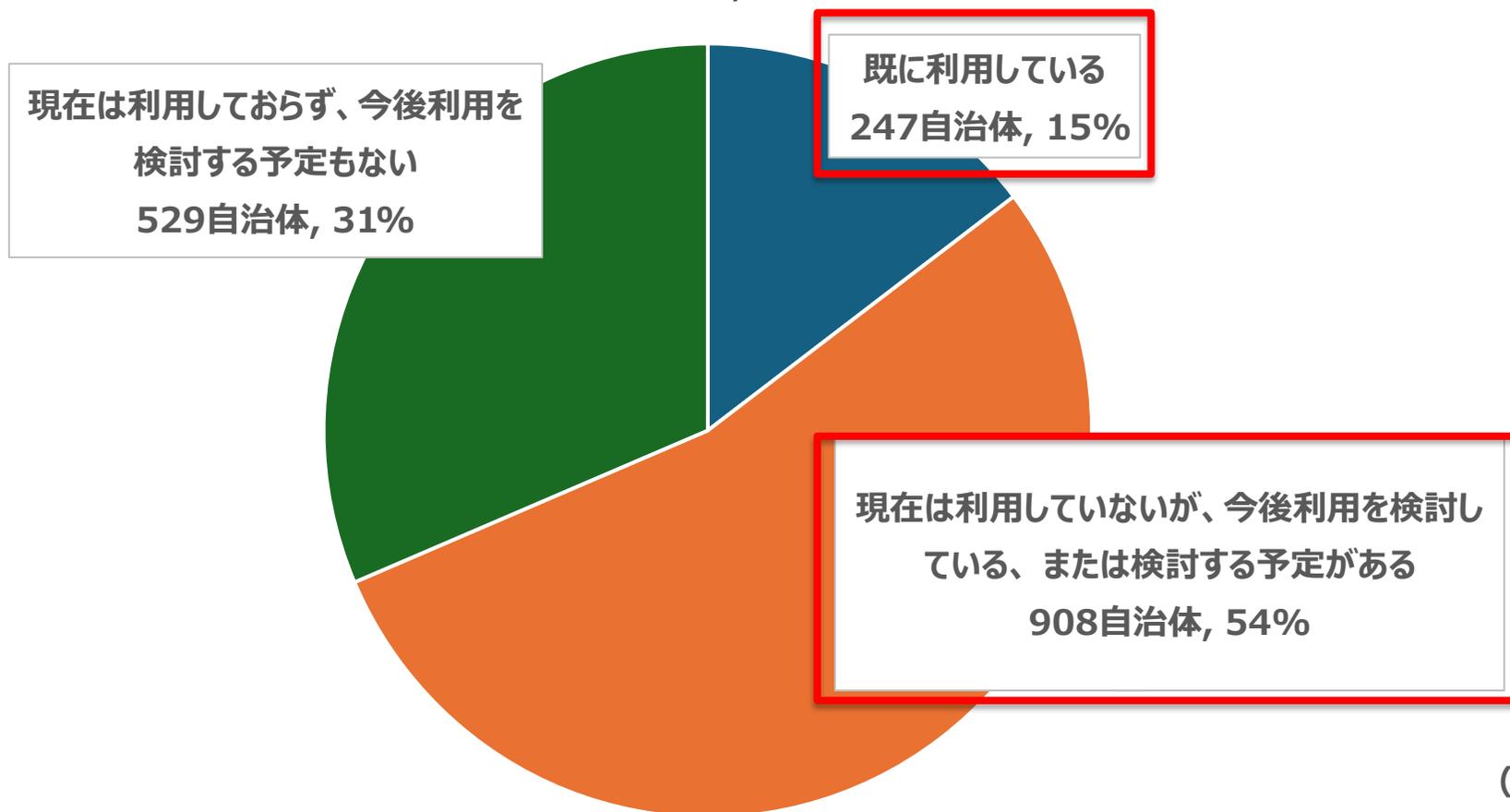
（\*） 様々なデジタル教材等で得られたデータを集約して可視化し、わかりやすく簡便にデータを把握することができる機能。

問. 貴自治体では、複数のデジタル教材等を便利に利用していくために、ダッシュボード機能を有するシステムを利用していますか。（または、利用を検討していますか。）

※児童生徒向け、教員向け、教育委員会向けのいずれか1つでもあれば利用している（利用を検討している）と回答。

※機能を有するシステムを導入していても、実際には利用していない場合は「利用していない」と回答。

回答自治体数, 割合

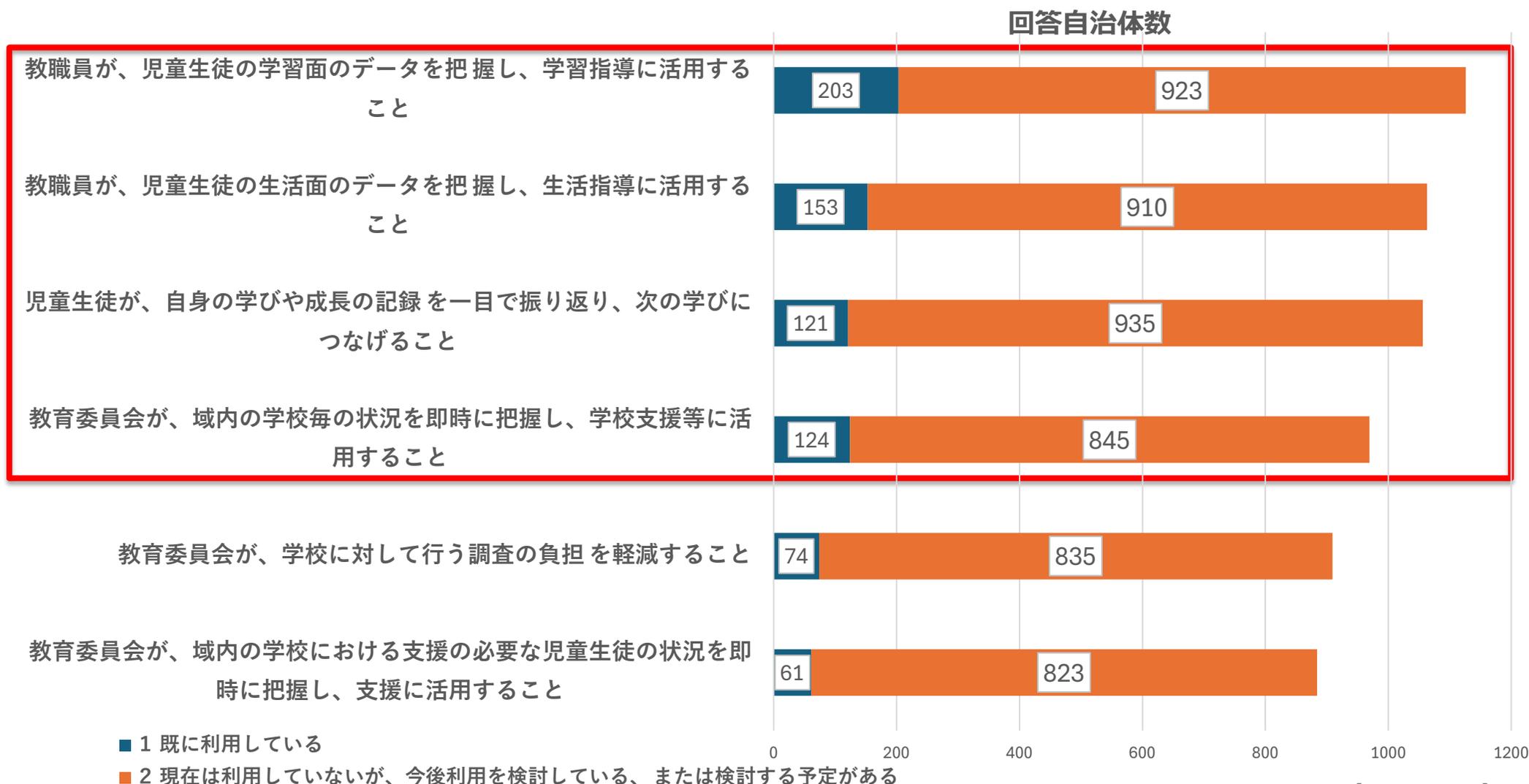


### ③ダッシュボード機能を有するシステムの利用状況（具体的な利用内容）

ダッシュボード機能の利用場面（検討中、検討予定を含む）は、教員による児童生徒への学習指導・生活指導、児童生徒による事後の学び等の振り返り、教育委員会による学校の状況把握とそれに応じた学校支援等が多い。

【ダッシュボードを活用、または活用を検討している自治体のみ回答】

問. 貴自治体が利用している（利用を検討している）ダッシュボードの活用内容と現状を教えてください。



※このほか、ダッシュボード機能は利用しているが、上記の選択肢以外の場面で利用している自治体もあった。

(N=1185)

### ③ダッシュボード機能を有するシステムの利用状況（ダッシュボード上の表示データ）

ダッシュボードに表示されているデータで多いものは、ドリル教材の学習成果、出欠情報、端末の利用ログ等。表示を検討中（検討予定を含む）のデータで多いものは、テスト結果、授業アンケートの回答、教員による指導・支援の記録等。

【ダッシュボードを活用、または活用を検討している自治体のみ回答】

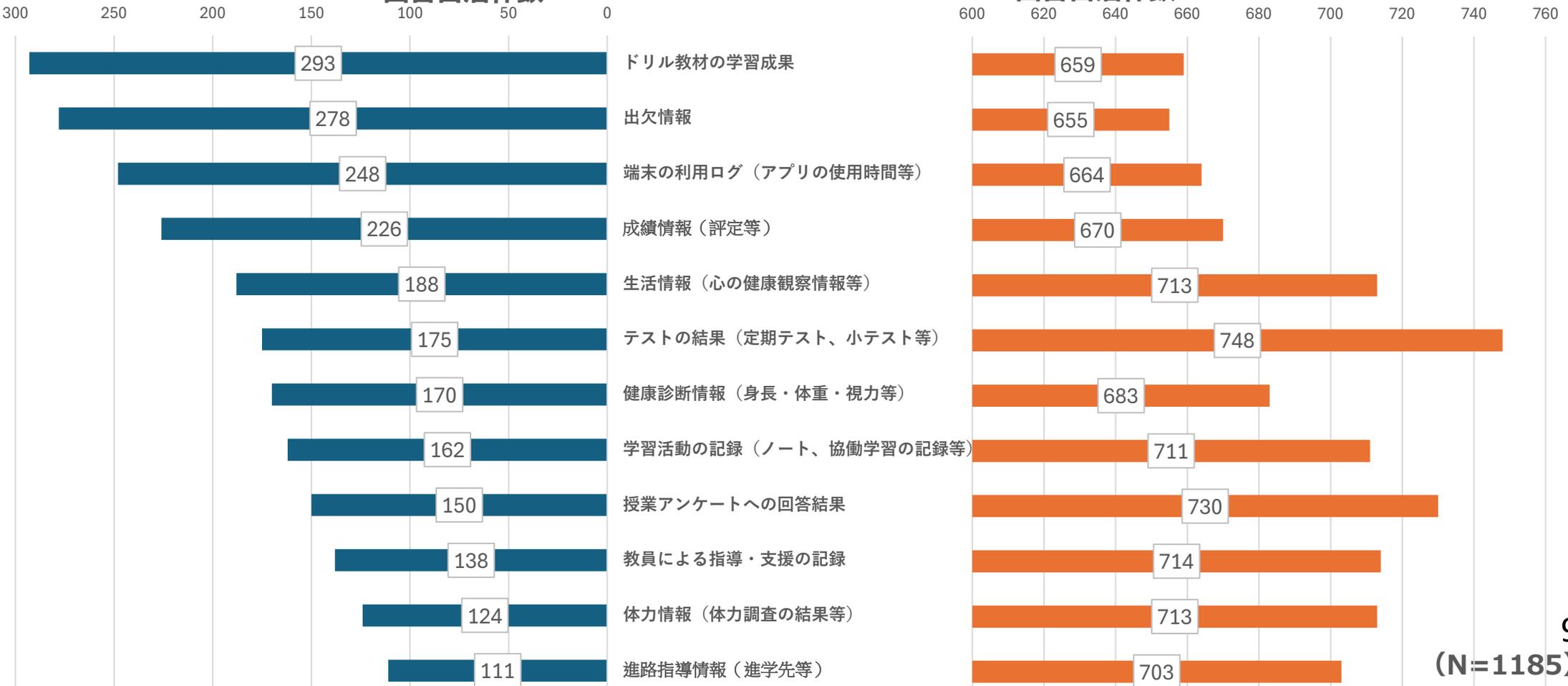
問. 貴自治体で利用しているダッシュボードには、以下のデータは表示されていますか（又は、表示することを検討していますか）。

#### 既に利用している内容

回答自治体数

現在は利用していないが、今後利用を検討している、または検討する予定がある内容

回答自治体数

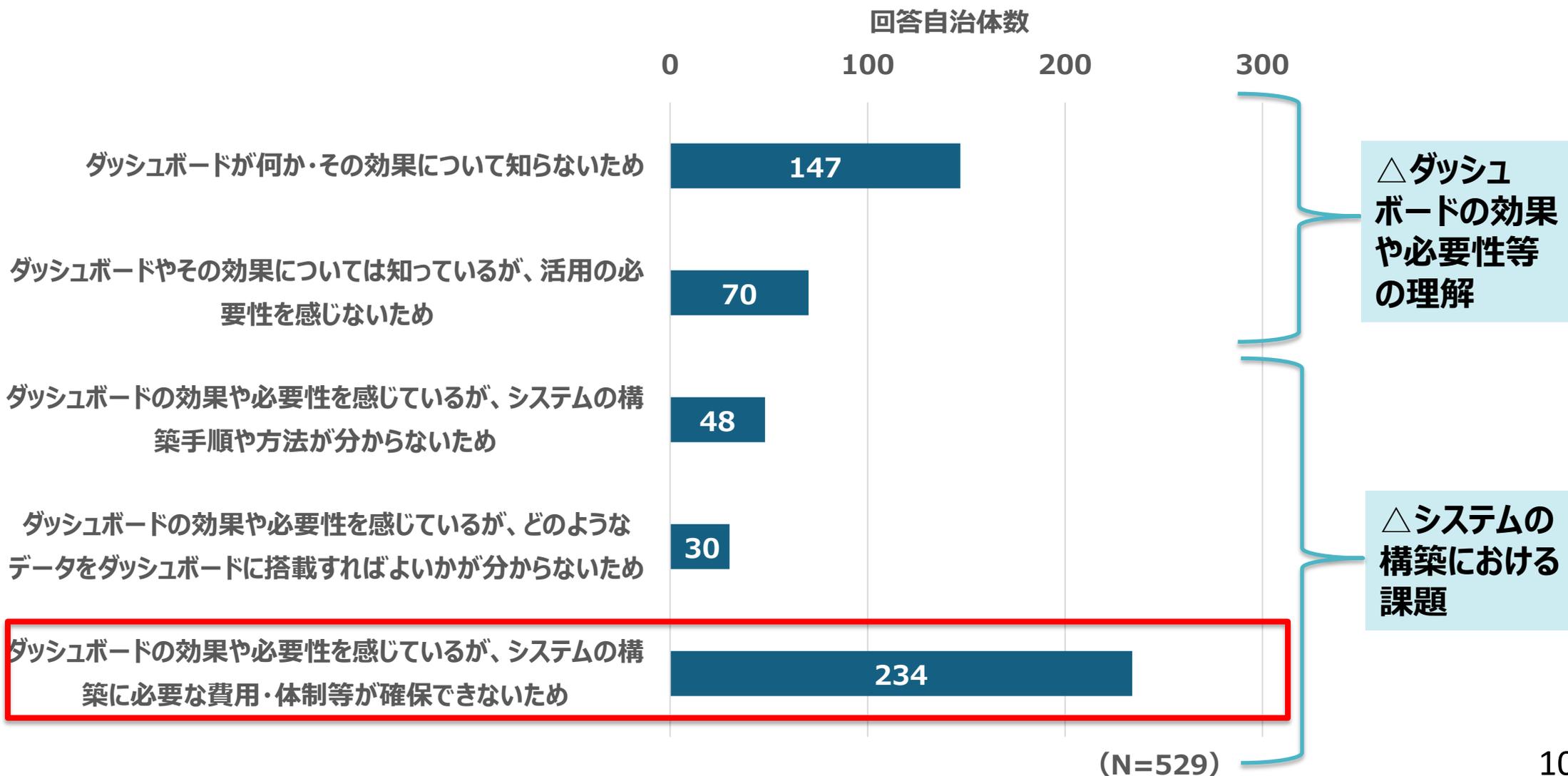


### ③ダッシュボード機能を有するシステムの利用状況（活用しない理由）

約31%の自治体はダッシュボード機能の利用を検討していないと回答しているが、その半数が「効果や必要性を感じているが、システムの構築に必要な費用・体制等が確保できない」ことを理由に挙げている。

【ダッシュボードの活用を検討していない自治体のみ回答】

問. 貴自治体でダッシュボードの活用を検討しない理由は何ですか。



## ④教育データ利活用に期待すること

自治体が教育データ利活用の貢献を期待する課題としては、「児童生徒への学習指導の参考」「教員の校務負担の軽減」が特に多く、次いで「児童生徒への評価への参考」「生活指導の参考」が多い。

問. 貴自治体では、学校や教育委員会が抱えるどのような課題に対して、教育データ利活用の貢献を期待しますか。（3つまで選択回答可）

回答自治体数

教員による、児童生徒への学習指導の参考

1264

教員の校務負担の軽減

1172

教員による、児童生徒への評価の参考

696

教員による、児童生徒への生活指導の参考

632

教育委員会による、学校の実態把握やそれに基づく支援等の参考

290

教員による、転学・進学時の情報共有

77

教育委員会による、教育施策の立案等

63

期待することはない

6

0 200 400 600 800 1000 1200 1400

(N=1442)

※4つ以上の選択があった自治体を除く。

## ⑤ポータルサイト機能を有するシステムの利用状況

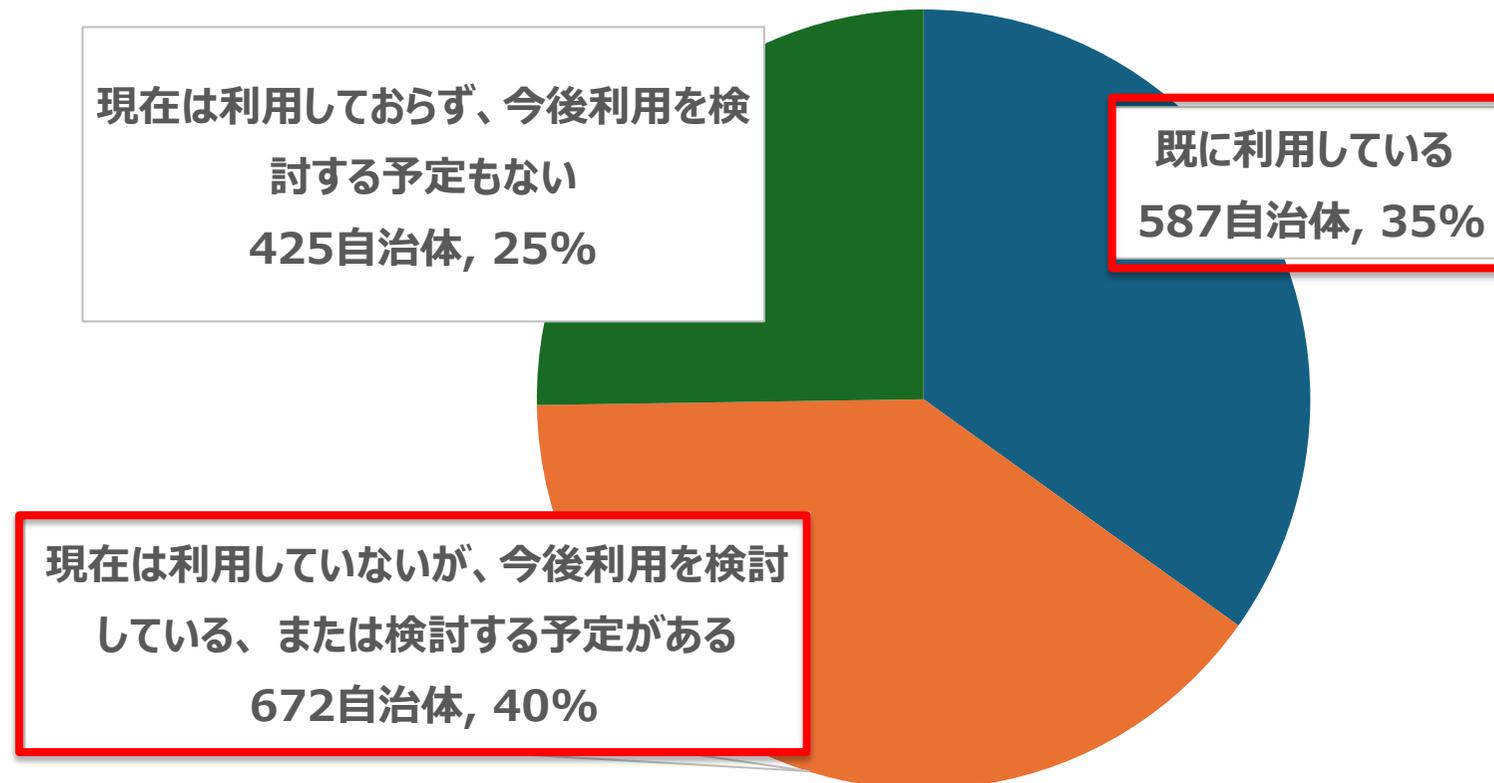
ポータルサイト機能（\*）を有するシステムについて、  
約35%の自治体が既に利用、約40%の自治体が今後利用を検討（又は検討予定）。

（\*）複数のデジタル教材等をわかりやすく一覧で表示し、ワンストップでのアクセス等を可能にする、学習の窓口機能。

問. 貴自治体では、複数のデジタル教材等を便利に利用していくために、児童生徒向けのポータルサイト機能を有するシステムを利用していますか（または、利用を検討していますか）。

※機能を有するシステムを導入していても、実際には利用していない場合は「利用していない」と回答。

回答自治体数, 割合



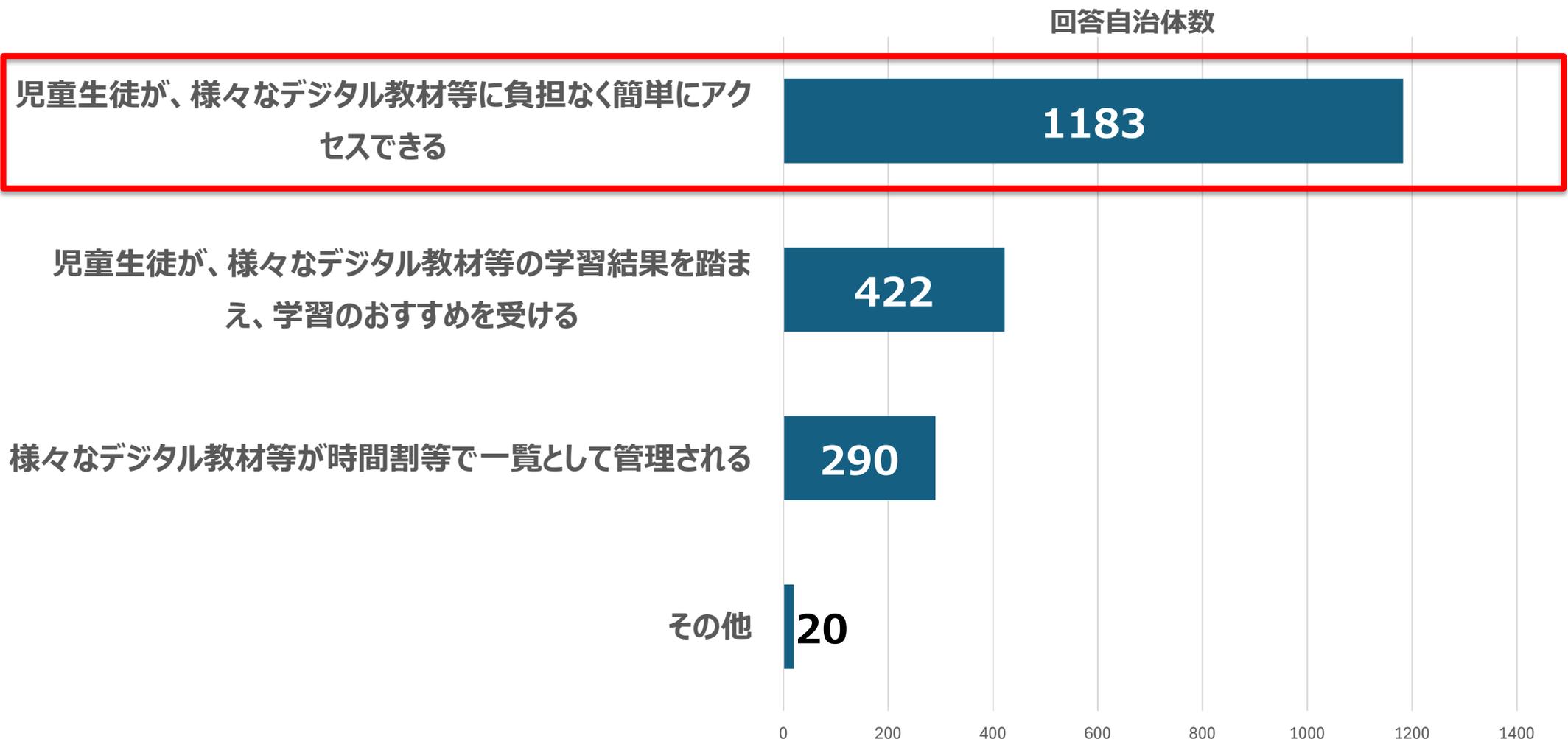
(N=1684)

## ⑤ポータルサイト機能を有するシステムの利用状況（当該機能に期待すること）

ポータルサイト機能を有するシステムについて、「児童生徒が様々なデジタル教材等に負担なく簡単にアクセスできる」ことに活用するニーズが最も高い。

【ポータルサイトを活用、または活用を検討している自治体のみ回答】

問. 貴自治体で利用している（利用を検討している）児童生徒向けのポータルサイト機能を持つシステムについて、その活用を通じて期待していること（として想定していること）は何ですか。



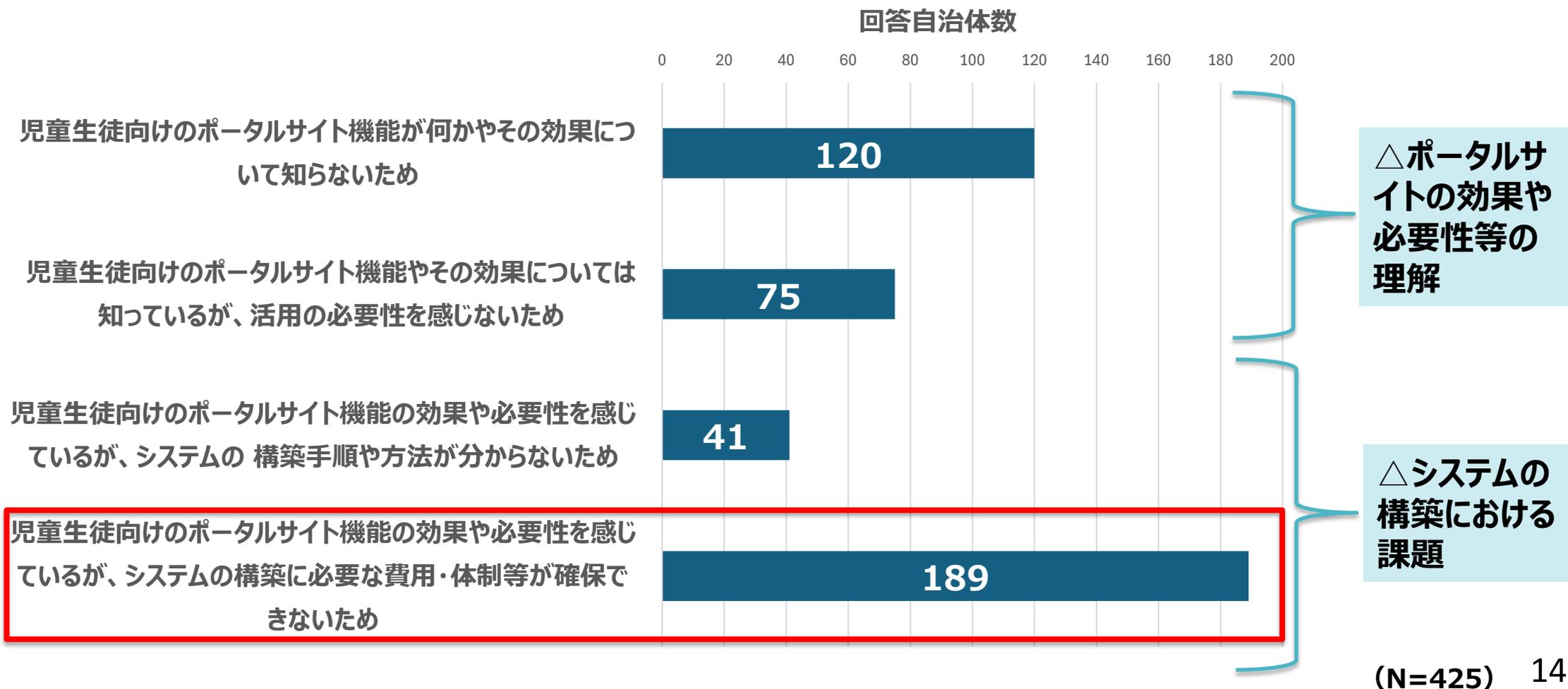
(N=1261)

## ⑤ポータルサイト機能を有するシステムの利用状況（活用しない理由）

約25%の自治体はポータルサイト機能の利用を検討していないと回答しているが、その半数弱が「効果や必要性は感じているが、システムの構築に必要な費用・体制等が確保できない」ことを理由に挙げている。

【ポータルサイトの活用を検討していない自治体のみ回答】

問. 貴自治体で、児童生徒向けのポータルサイト機能を持つシステムの利用を検討しない理由は何ですか。



## ⑥児童生徒のシングルサインオン（SSO）機能の利用状況

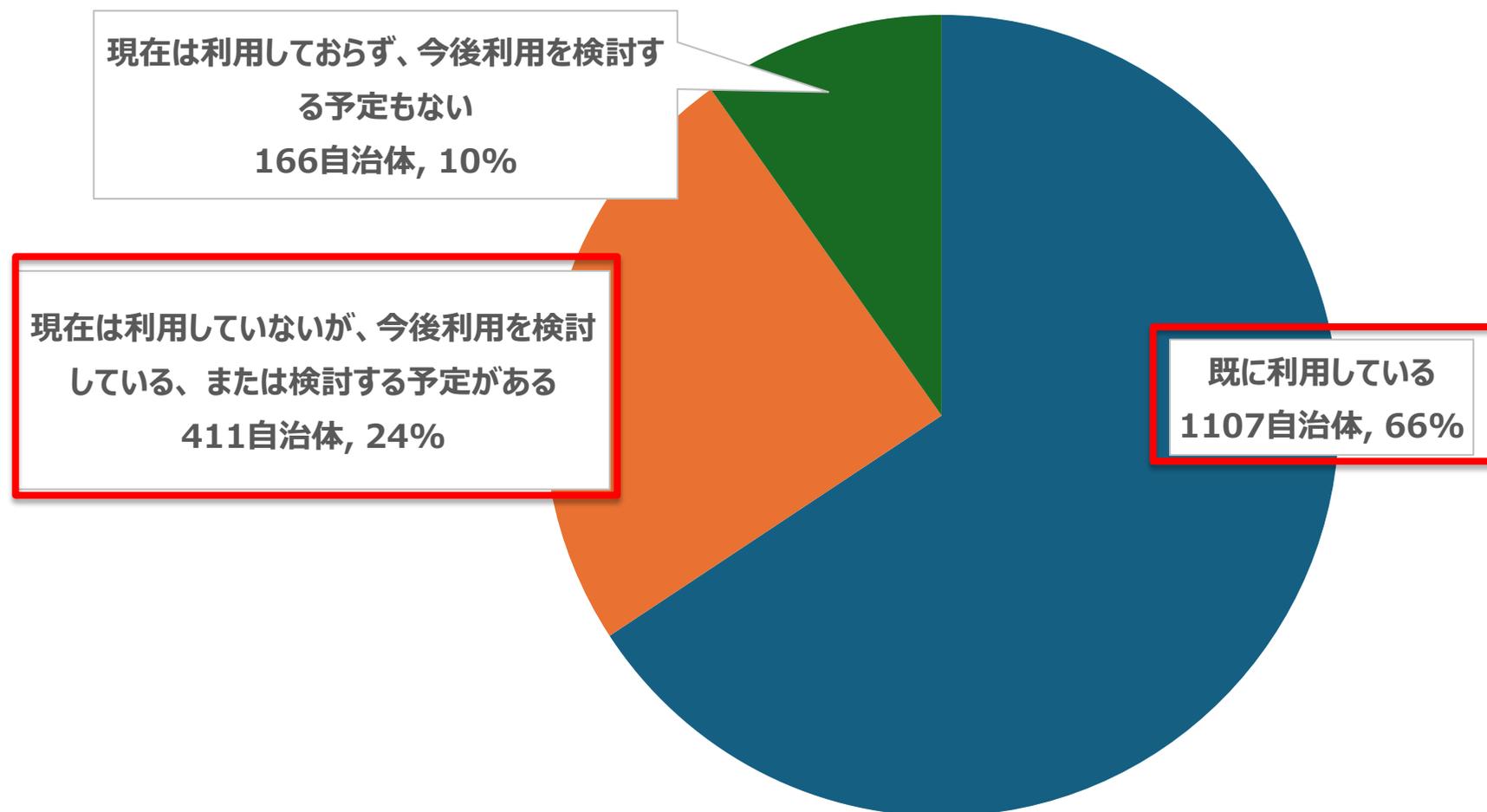
児童生徒のシングルサインオン（SSO）機能（\*）について、約66%の自治体が既に利用、約24%の自治体が利用を検討（または、検討予定あり）。

（\*）複数のデジタル教材等に、1つのIDでログインできる機能。（各教材等で別々のIDを入力することなくログインできる。）

問. 貴自治体では、複数のデジタル教材等を便利に利用していくために、児童生徒のシングルサインオン（SSO）機能を有するシステムを利用していますか（または、利用を検討していますか）。

※機能を有するシステムを導入していても、実際には利用していない場合は「利用していない」と回答。

回答自治体数, 割合



(N=1684)